

グループ相談 報告

グループ相談では講師の方からお聞きしたお話しやアドバイスを分かりやすく掲載します。“こんな時どうしたらいいのかな…” “これでいいのかな…” そんな気持ちを抱いた時に参考にしてくださいね。

11/25(金)「子どものおもちゃ」

講師：村岡 真由美さん (おもちゃコンサルタントマスター)

『子どもの発達段階に合わせたおもちゃの選び方』について、手作りおもちゃの紹介を交えてお話ししました。実際に手づくりおもちゃを見て、触って、遊んで・・・ママも子どもも興味津々。たくさんのアイデアに発見あり！のひと時となったようです。「子どもは“ない”ものを“ある”と仮定し、それを感じる想像力を必要とする『見立て遊び』ができます。3つのテクニックを使うと親子で一緒に楽しく遊び、コミュニケーションもとれますよ。」とのお話がありました。

★遊びを盛り上げる3つのテクニック

- ① アクション…それらしく手や体を動かす
- ② 擬音…それらしく声、音をたてる
- ③ シチュエーション…場面を考えて演じる

例) 積木を車に見立てて「ブブー」と道を走らせるように動かす。



【発達に合わせておもちゃを選ぶ】

音が出るもの、見てきれいなもの(色の鮮やかなもの)、触って遊ぶもの、言葉を楽しむもの、指先を使うものなど変化があること。おもちゃも五感を使って遊べるものを選ぶと良いでしょう。

市販のおもちゃではなく、牛乳パックや空き箱など身近なものを材料にした手作りおもちゃに、自ら手を伸ばして楽しく遊んでいる子どもの姿を見たママたちからは、「自分でも作ってみたい!」と多くの声が聞かれました。

～村岡さんからのメッセージ～

- ♪ 乳幼児期から幼児期は脳が急速に発達し、親子のコミュニケーションがとても大事な時期です。親子の会話やスキンシップを思う存分楽しむ手段として手づくりおもちゃは最適です。
- ♪ 「壊れても自分で直せる」「材料は身近にあるので何でも作れる」「簡単に作れる」これが手づくりおもちゃのメリットです。

12/13(火)「マネープランニング」

講師：大谷 貴宏さん、古川 昭浩さん (ファイナンシャルプランナー)

9組 19名が参加。始めに、教育費や住宅費など子どもが大きくなるにつれかかってくる経費について、データに基づきながら説明をしてもらいました。また、年数が経ち親の介護が始まると、子育てと介護を同時にやらなければならないダブルケアになる可能性もあり、これから起こりうる状況についてのお話もありました。

後半では、講師のアドバイスを受けながら、参加者がライフプラン表を作成しました。まずは、自分や家族の年齢を記入します。それぞれのライフイベントを書き入れ、同時に住宅や車など家族にとっての必要経費を入れていきます。可視化することで、今後のライフプランが立てやすくなり、家族で話し合う時にも有効です。

参加者からは、「ライフプランは、漠然としか考えたことがなかったので、今回しっかりと考えることができて良かったです。」「子どもの教育費について、もう少し詳しく知りたかった。ダブルケアについては、気づきがありとても良かった。」などの感想がありました。



子どもの成長に伴い、かかる経費が変わっていきます。日頃から家族で話し合うことが大切ですね。